

令和7年度 評価・反省

(1) 職員間の連携

クラス間での情報共有を行いながら連携を図るよう努めてきましたが、クラスや職員ごとに動きや対応の差が見られる場面がありました。日々の声かけや打ち合わせを通して連携を意識してきたものの、園全体としての統一した理解や連携体制には課題が残りました。今後は、共通認識をより深め、全体で連携した保育が行えるよう改善していきます。

(2) クラス会議の見直し

職員会議の議題をクラス内で確認・共有しながら保育に活かすよう努めてきましたが、十分に共有しきれない場面も見られました。また、話し合いの時間や内容にも偏りがあり、継続的な振り返りや改善に十分つなげることができなかった点が課題として挙げられます。今後はクラス会議の持ち方や進め方を見直し、より実効性のある話し合いの場となるよう工夫していきます。

(3) 他クラスとの積極的な関わり

朝夕の合同保育や土曜日保育、他クラスへのヘルプ時には一定の交流を図ることができましたが、日常的なクラス同士の関わりの機会は十分とは言えませんでした。また、0・1歳児クラスが分園となっていることから、職員・子どもともに関わる機会が限られていた点も課題として挙げられます。今後は計画的に交流の機会を設けるなど、クラス間の関わりを深めていけるよう取り組んでまいります。

(4) 地域との交流

地域との関わりを大切にしながら活動を進めてきましたが、十分な交流の機会を持つことが難しい状況もありました。今後は、無理のない範囲で地域とのつながりを継続し、子どもたちにとっての経験の広がりにつなげていきます。

【今後の課題】

本年度は、職員間の連携や会議の在り方、環境構成、地域との関わりなど、さまざまな面で取り組みを進めてきましたが、十分に実現できなかった点や課題も明確になりました。

今後は、今回の振り返りをもとに共通理解を深め、職員同士の連携を一層強化するとともに、子ども一人ひとりに寄り添った保育の充実に努めてまいります。また、継続的な見直しと改善を重ねながら、よりよい園運営を目指していきます。